



2024年3月期 第1四半期 決算概要

2023年8月8日
シスメックス株式会社

Together for a better
healthcare journey

Index

1. 2024年3月期 第1四半期 決算概要

2. 2024年3月期 通期業績予想

(補足資料)

- ・ 地域別実績
- ・ サステナビリティ 目標実績

- ・ 当社グループは、2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。
- ・ 2022年3月期に、クラウド・コンピューティング契約におけるコンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションのコストについて、サービスを受領したときにそのコストを費用として認識する方法に変更しています。
- ・ 本資料のうち、売上予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

エグゼクティブサマリー

第1四半期実績（対前年）

● 売上高、営業利益ともに2桁の増収増益を達成（売上高 10.8%増、営業利益 20.1%増）

売上高 : COVID-19収束に伴い日本やEMEAでは関連検査需要は減少も、中国のヘマトロジー分野などの検査需要は回復
米州、APは2桁増収を達成、中国も2桁増収を達成

売上原価 : サービスコスト高は続くも、輸送費や原材料費の高騰は緩和し、改善

販管費等 : 将来の成長に向けた投資継続（研究開発、デジタル化など）、労務費高騰は想定範囲

営業利益 : 増益となるも、COVID-19やロシア影響および販管費増加などにより、想定を若干下回る

上期業績および通期業績

● 売上高 : XR™シリーズの上市など2Q以降の伸長により、目標達成を見込む

● 営業利益 : 売上高伸長などによる粗利増加および販管費等をコントロールし、目標達成を見込む

1. 2024年3月期 第1四半期 決算概要

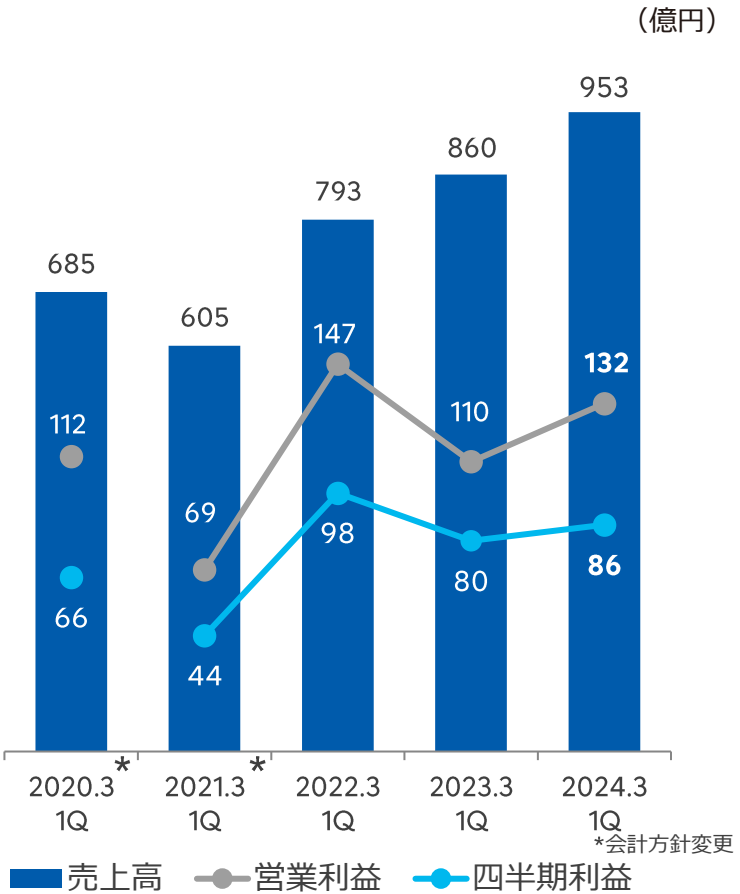
決算総括



(億円)	2024年3月期1Q		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	953.5	100%	860.2	100%	110.8%
売上原価	449.4	47.1%	430.6	50.1%	104.4%
販売費及び一般管理費	301.4	31.6%	251.5	29.2%	119.8%
研究開発費	71.3	7.5%	69.1	8.0%	103.1%
その他の営業損益	1.4	0.2%	1.6	0.2%	89.7%
営業利益	132.7	13.9%	110.5	12.8%	120.1%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	86.2	9.0%	80.3	9.3%	107.4%

- ✓ 売上高 : 米州、中国、APが2桁伸長し、増収を達成
- ✓ 営業利益 : 販管費は増加するも、売上原価改善による粗利増加や円安効果により、増益
 - 為替の影響 売上高 +30.8億円 営業利益 +29.9億円
 - 前年同期為替レート適用の場合 売上高 107.2% 営業利益 93.0%
- ✓ 四半期利益 : 為替差損益の影響があるも、増益を達成

※為替差損益：+8.5億円（前年同期比△20.7億円）



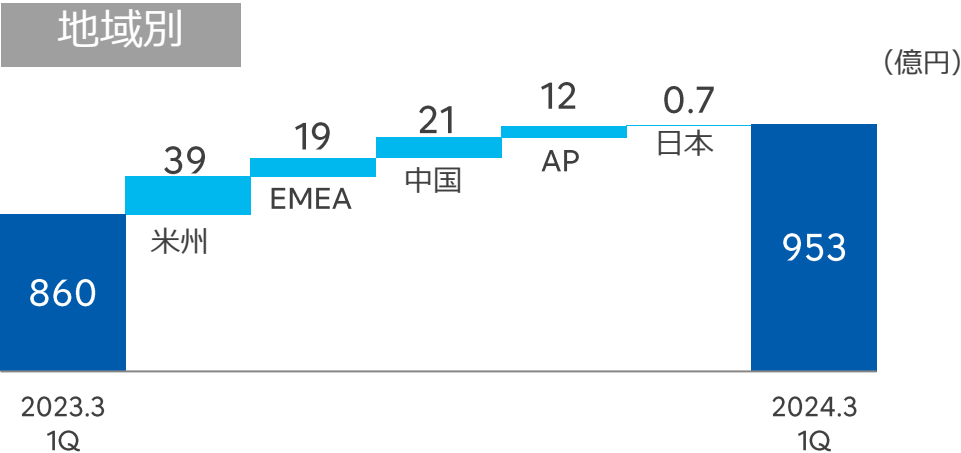
	2024年3月期	前年同期
1USD	137.4円	129.6円
1EUR	149.5円	138.1円
1CNY	19.6円	19.6円

売上高の増減要因（地域別・品目別）



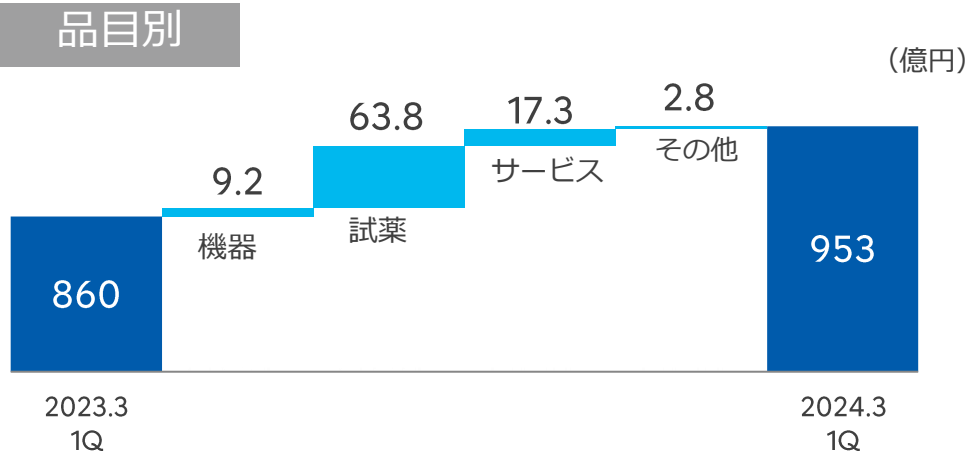
	2024年3月期1Q		前年同期比	
(億円)	実績	構成比	円ベース	現地通貨ベース
売上高	953.5	100.0%	110.8%	107.2%※
米州	270.2	28.3%	117.0%	110.4%
EMEA	291.9	30.6%	107.1%	99.0%
中国	167.2	17.6%	115.0%	115.1%
AP	93.7	9.8%	114.7%	112.9%※
日本	130.3	13.7%	100.6%	-
機器	200.7	21.1%	104.8%	100.5%※
試薬	585.8	61.4%	112.2%	107.9%※
サービス	135.8	14.3%	114.6%	115.4%※
その他	31.0	3.3%	109.9%	106.7%※

※為替の影響を除いた円貨ベースの前年同期比伸長率



地域別の主な増減要因

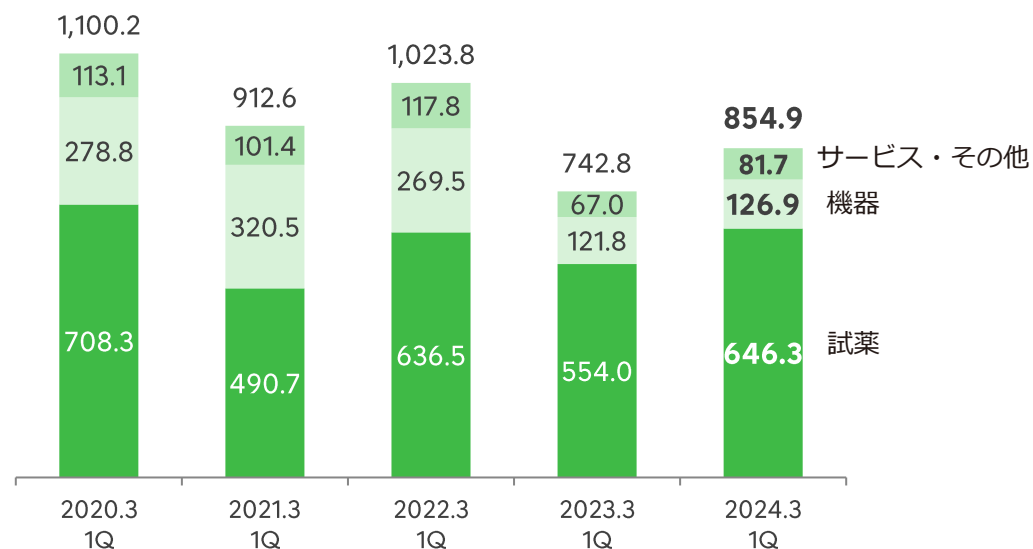
米州	・ ヘマトロジー分野において、カナダ、中南米を中心に伸長した他、尿分野も好調に推移し、2桁増収を達成
EMEA	・ ロシアにおいて大幅減収となるも、サウジアラビアやスペインなど直販化に移行した国が高伸長し、横ばい
中国	・ COVID-19感染拡大前の検査数水準まで回復。ヘマトロジー分野の伸長が牽引し、2桁増収を達成
AP	・ インドやインドネシアに加え、韓国や台湾も好調に推移し、2桁増収を達成
日本	・ COVID-19関連検査需要の減少などにより、横ばい。 ・ ダイアグノスティクス事業は、XRシリーズによるヘマトロジー分野の2桁伸長の他、ライフサイエンスも好調に推移し、+2.3%の伸長



中国（地域別）

(Million CNY)	2024年3月期 1Q	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	854.9	742.8	115.1%	115.0%
機器	126.9	121.8	104.2%	104.1%
試薬	646.3	554.0	116.7%	116.5%
サービス・その他	81.7	67.0	122.0%	121.8%

売上高推移（Million CNY）



- COVID-19の影響（ロックダウンなど）により落ち込んだ検査需要はコロナ禍前の水準まで回復
- 政府調達方針の影響はあるも、機器・試薬ともに増収
- 2Q以降は、さらなる売上回復を想定

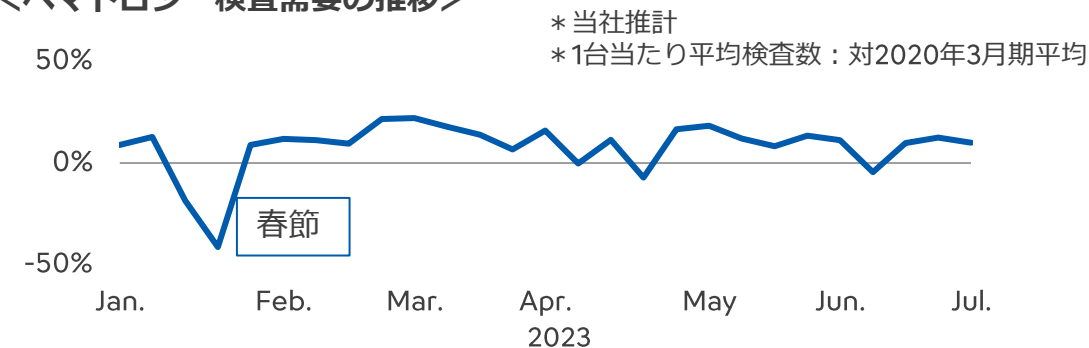
● 機器

- ✓ ヘマトロジー・血液凝固分野が伸長し、増収
- ※ 現地生産製品の売上構成比も増加

● 試薬

- ✓ 検査需要の回復によりヘマトロジー・尿・血液凝固分野を中心に伸長し、増収

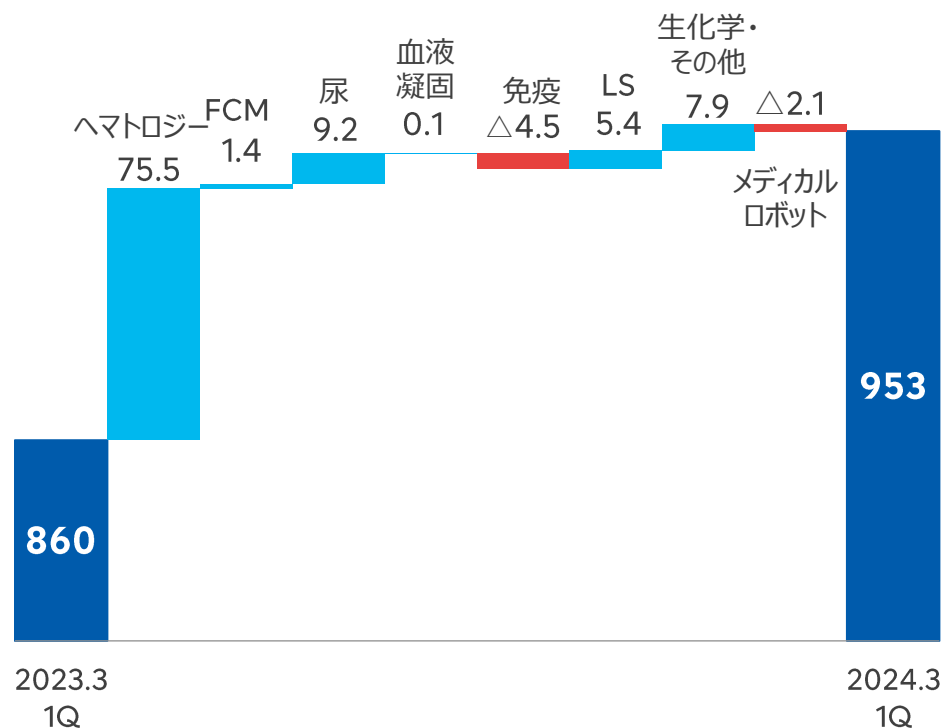
<ヘマトロジー検査需要の推移>



売上高の増減要因（事業別・分野別）

事業別・分野別売上高

(億円)



COVID-19関連検査（ライフサイエンスと免疫およびその他に含まれる）

2024.3期1Q：4.7 億円（国内4.7億円）

（参考）2023.3期1Q：10.4 億円（国内8.6億円、海外1.8億円）

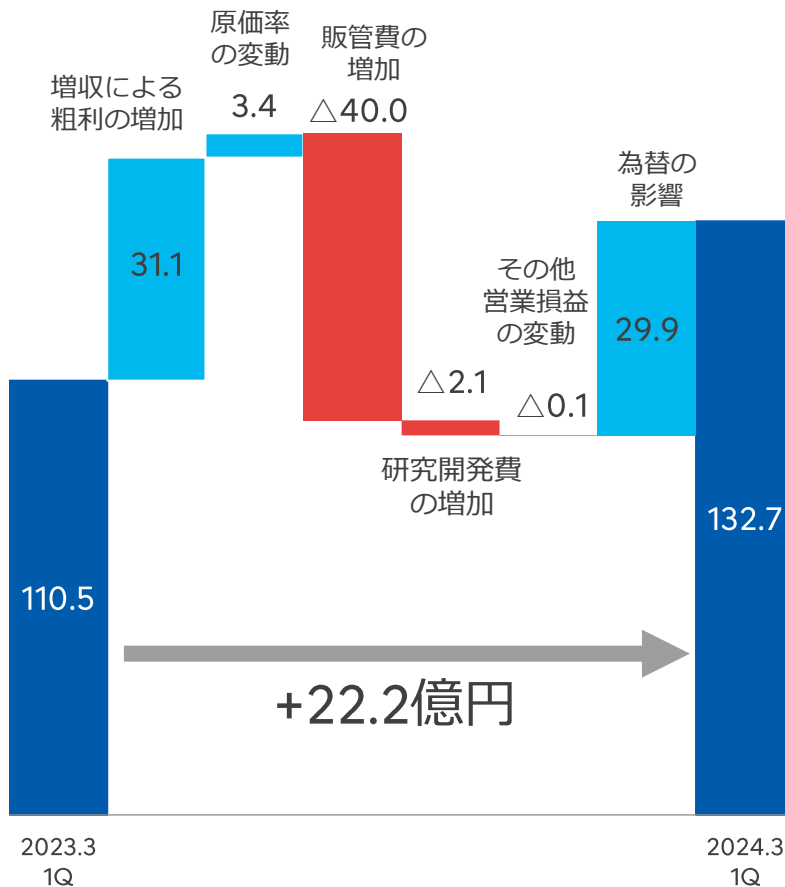
血液凝固・免疫分野はロシアへの供給停止やCOVID-19検査需要減少の影響を受けるも、ヘマトロジー分野を中心に、伸長

(億円)	2024年3月期1Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	為替影響を除く
売上高	953.5	100.0%	110.8%	107.2%
ヘマトロジー	592.8	62.2%	114.6%	110.4%
FCM	6.3	0.7%	128.8%	122.3%
尿	77.6	8.1%	113.6%	109.2%
血液凝固	136.6	14.3%	100.1%	99.0%
免疫	38.1	4.0%	89.3%	89.1%
生化学	7.9	0.8%	99.3%	98.0%
ライフサイエンス	46.1	4.8%	113.5%	108.3%
その他	44.8	4.7%	121.8%	116.8%
ダイアグノスティクス事業	950.5	99.7%	111.1%	107.5%
医療ロボット事業	2.9	0.3%	57.8%	57.8%

営業利益の増減要因

営業利益

(億円)



※下記数値・コメントは為替の影響を除く

- 増収による粗利の増加：31.1億円（プラス影響）
- 原価率変動による影響：3.4億円（0.4pt 改善）（プラス影響）
 - ✓ プロダクトミックス影響 0.6pt 改善、輸送費高騰の緩和 0.5pt 改善
 - ✓ 原材料高騰の緩和 0.5pt 改善
 - ✓ サービスコスト 0.8pt 悪化
- 販売管理費の増加：40.0億円（マイナス影響）
 - ✓ 各地域の人員増加や人件費高騰による労務費の増加
 - ✓ デジタル化関連費用の増加
- 研究開発費の増加：2.1億円（マイナス影響）
 - ✓ 製品開発への継続投資および薬事関連費用による増加
- その他営業損益の変動：0.1億円（マイナス影響）
- 為替の影響：29.9億円のプラス影響

ダイアグノスティクス事業の取り組み

- XRシリーズ EMEA XRシリーズおよび検体搬送システム商品群（BT-50など）を販売開始（2023年7月）
 - 日本 1Qも堅調に推移し、ヘマトロジー分野の機器売上は2桁伸長を達成（2022年7月よりBT-50などを販売開始）
 - AP 2024年3月期2Qより販売開始予定
 - 中国 BT-50 をXN™シリーズへの追加モジュールとして販売開始、XRシリーズは2024年3月期3Qに販売開始予定
 - 米州 BT-50 をXNシリーズへの追加モジュールとして販売開始、XRシリーズは2025年3月期より販売開始予定



XRシリーズと検体搬送システムの接続イメージ

ダイアグノスティクス事業の取り組み

- 血液凝固 シーメンス社とのOEM契約に基づき、2024年4月販売開始に向けて準備を推進中
- 中国 新たに間質性肺炎マーカー（KL-6）を登録完了し、免疫分野試薬項目が合計58項目に拡大（2023年7月）
血液凝固・尿・ヘマトロジー・免疫分野の機器現地生産の機種追加を推進中
- アルツハイマー病検査
日本 アルツハイマー病検査（微量の血液から脳内アミロイドβを測定する検査）の販売開始（2023年6月）
米州 2024年3月期2Qより、ラボアッセイサービス（LDT）を開始予定
- 日本 クリニカルフローサイトメトリーシステム（XF-1600™、PS-10）の販売開始（2023年5月）
- EMEA 尿路感染症の薬剤感受性を迅速判定するプライマリケア市場向け検査システム（PA-100）の販売開始（2023年6月）



クリニカルフローサイトメトリーシステム



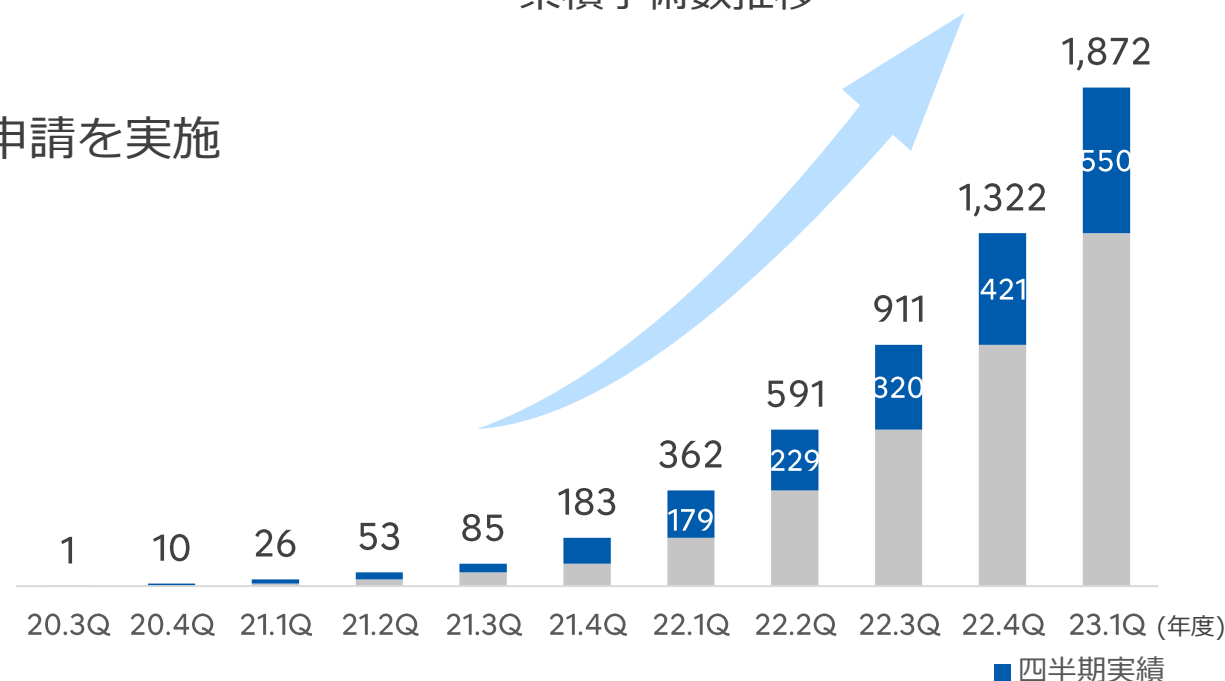
PA-100検査装置と試薬カートリッジ（検査パネル）

メディカルロボット事業の取り組み

- 2023年7月18日にバージョンアップモデルを販売開始
 - ✓ ハンドクラッチ機能により、スムーズな手術を実現
 - ✓ 蛍光画像に対応した内視鏡も使用が可能に
 - ✓ その他要望事項に対応
- 累積手術数は、2024年3月期1Q時点で1,800件を超え、順調に推移
- 累計導入台数：36台（1台増※）
 - ※バージョンアップモデル販売前のため
- 認定医師数：333名（46名増）
- 2023年4月にシンガポールの保健科学庁への薬事申請を実施



累積手術数推移



2. 2024年3月期 通期業績予想

2024年3月期 通期業績予想

(2023年5月公表から変更なし)



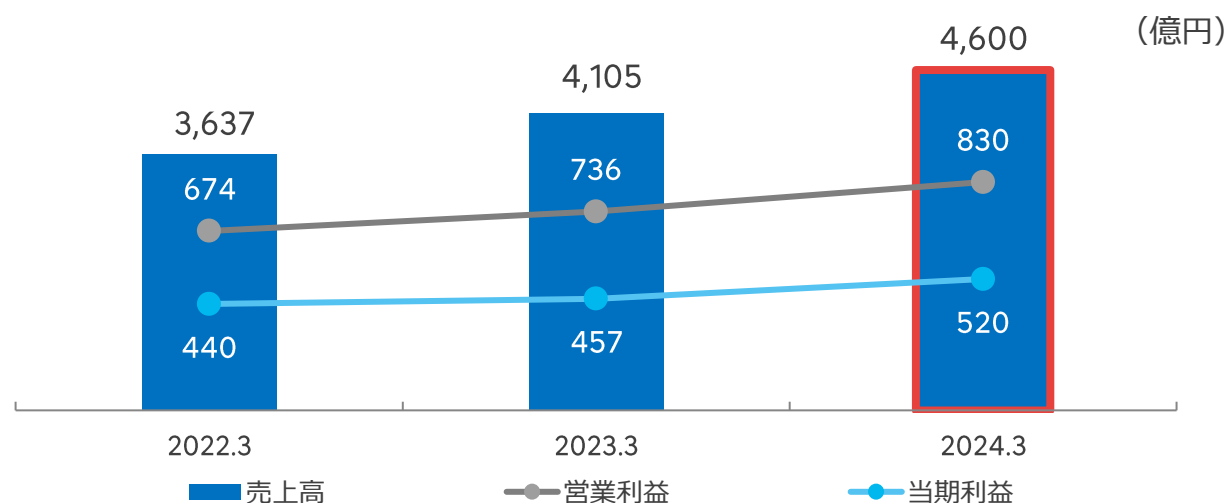
	2024年3月期		2023年3月期		伸長率
	予想	構成比	実績	構成比	
売上高	4,600	100.0%	4,105	100.0%	+12.1%
販売管理費	1,245	27.1%	1,123	27.4%	+10.8%
研究開発費	375	8.2%	310	7.6%	+20.9%
営業利益	830	18.0%	736	17.9%	+12.6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	520	11.3%	457	11.2%	+13.8%
投資計画		設備投資 478億円		減価償却費 350億円	

● 想定為替レート

	通期想定	前期実績 (23年3月期)
1 USD	133.0円	135.5円
1 EUR	143.0円	141.0円
1 CNY	19.2円	19.8円

● 為替感応度の概算値

	売上 (年間)	営業利益 (年間)
USD	7.9億円	1.8億円
EUR	5.8億円	1.4億円
CNY	54.6億円	41.8億円

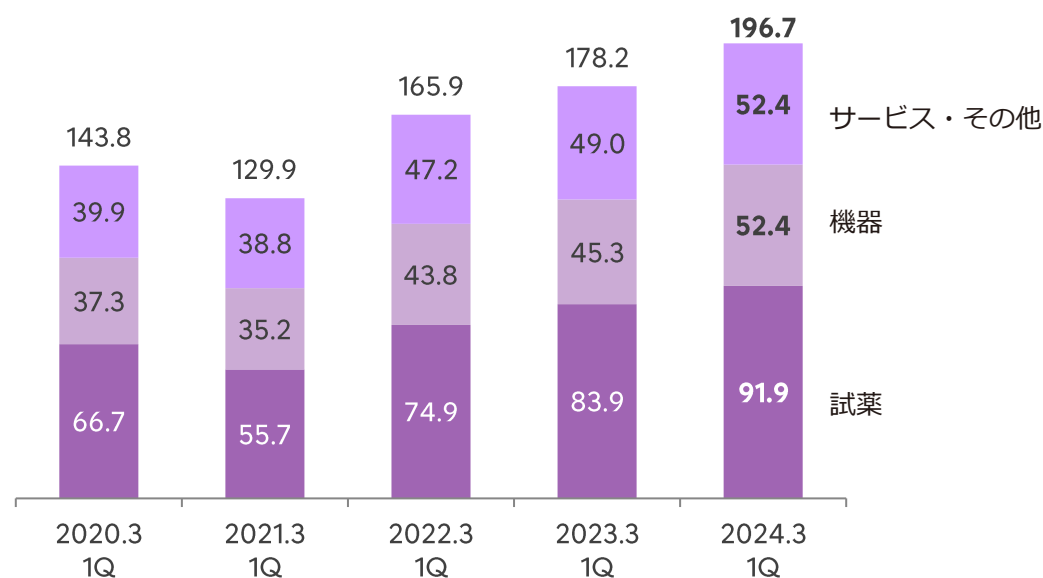


(補足資料)

米州（地域別）

(Million USD)	2024年3月期 1Q	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	196.7	178.2	110.4%	117.0%
機器	52.4	45.3	115.6%	122.6%
試薬	91.9	83.9	109.6%	116.2%
サービス・その他	52.4	49.0	106.9%	113.2%

売上高推移（Million USD）



ヘマトロジー分野において、カナダ、中南米を中心に機器が伸長した他、尿分野の試薬も好調に推移し、2桁増収

● 機器

✓カナダ、中南米において、ヘマトロジー分野が好調に推移

✓ブラジルおよび米国において、尿分野が伸長

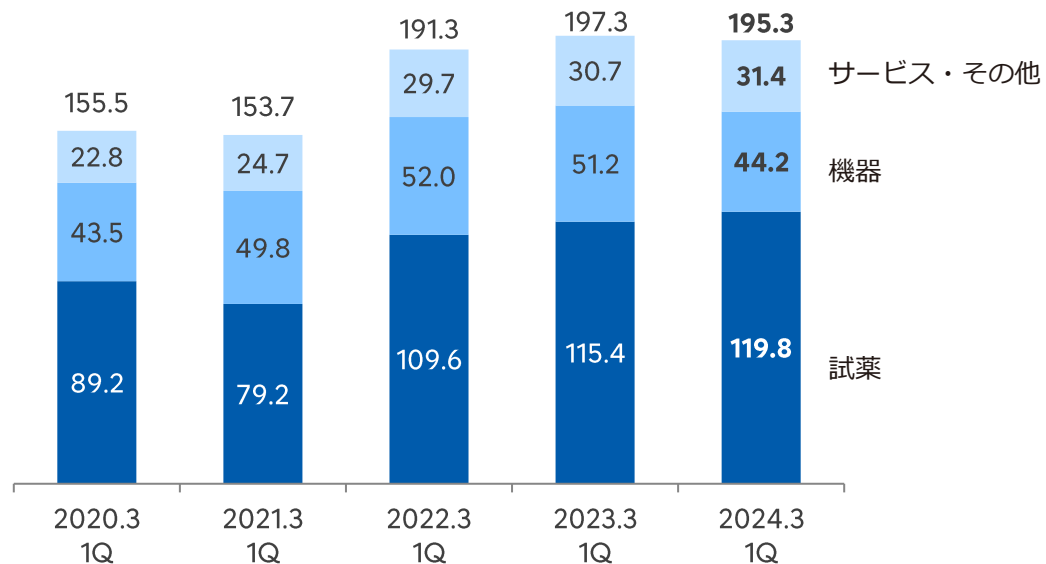
● 試薬

✓ヘマトロジー・尿分野において、北米、中南米ともに機器設置台数の増加により、伸長

EMEA（地域別）

(Million EUR)	2024年3月期 1Q	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	195.3	197.3	99.0%	107.1%
機器	44.2	51.2	86.2%	93.3%
試薬	119.8	115.4	103.8%	112.3%
サービス・その他	31.4	30.7	102.1%	110.5%

売上高推移（Million EUR）



ロシアにおいて減収となるも、サウジアラビアやスペインなど直販化に移行した国で売上が高伸長し、横ばいに留まる

● 機器

✓ 直販化したサウジアラビアなどは増収も、前年イタリアで大型案件を獲得した影響もあり、減収

● 試薬

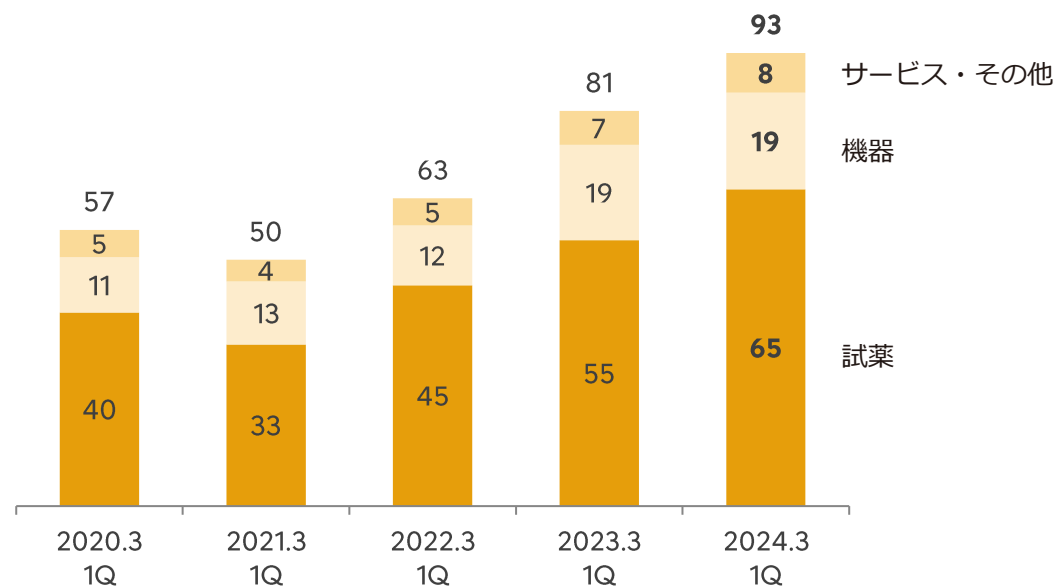
✓ ロシアは供給停止により減収となるも、イタリアでの設置台数増加や、直販化したサウジアラビアやスペインなどが伸長し、増収

AP（地域別）

(億円)	2024年3月期 1Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	93.7	81.7	114.7% (112.9%)
機器	19.9	19.6	101.3%
試薬	65.5	55.0	119.1%
サービス・その他	8.2	7.0	117.6%

*()は為替の影響を除いた場合

売上高推移（億円）



機器設置台数増加によりヘマトロジー分野を中心に全分野において試薬が伸長し、2桁増収

● 機器

✓ 前年の医療インフラ投資や大型案件の影響はあるも、ヘマトロジー分野は、東アジアにおいて上位市場、東南アジアにおいて中下位市場向けが伸長し、増収

● 試薬

✓ 機器設置台数の増加に伴い、インドやオーストラリアを中心にヘマトロジー分野が好調に推移した他、東南アジアや東アジアを中心に、免疫分野が好調に推移するなど、全分野において伸長し、増収

日本（地域別）

(億円)	2024年3月期 1Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	130.3	129.6	100.6%
ダイアグノスティクス事業	127.4	124.5	102.3%
機器	17.4	14.2	122.9%
試薬	88.5	90.4	97.9%
サービス・その他	21.4	19.9	107.5%
メディカルロボット事業	2.9	5.0	57.8%

試薬はCOVID-19関連検査需要の減少の影響を受けるも、ヘマトロジー・尿分野の機器が伸長し、増収

ダイアグノスティクス事業

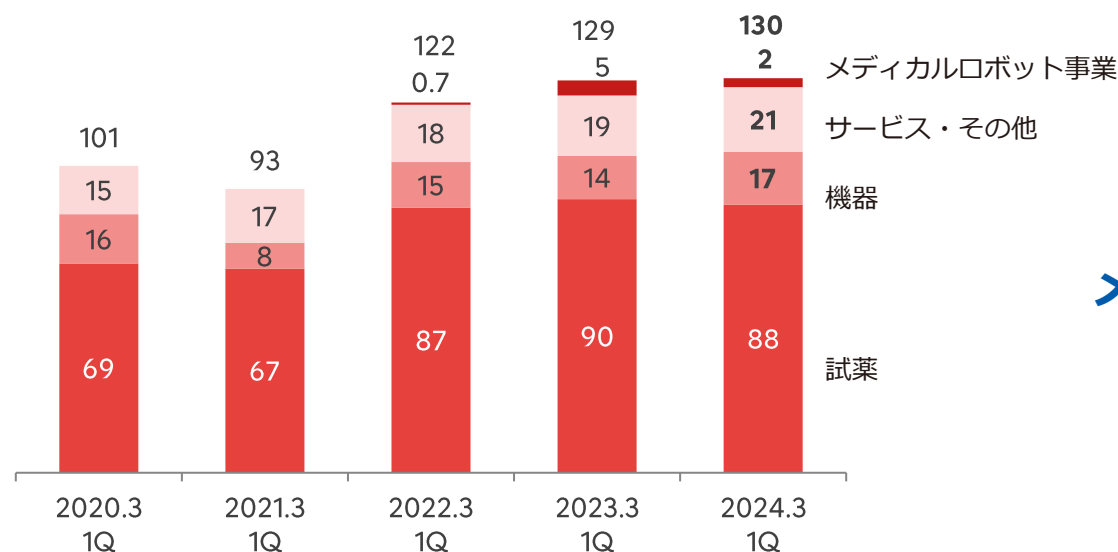
● 機器

- ✓ XRシリーズによるヘマトロジー分野の2桁伸長や、中小規模施設市場向けの新製品導入効果により尿分野が大幅伸長し、増収

● 試薬

- ✓ 機器設置台数の増加によるヘマトロジー分野やライフサイエンスが伸長も、COVID-19関連検査需要の減少などにより、減収

売上高推移（億円）



メディカルロボット事業

- ✓ 第1四半期に1台導入、販売開始以来の累計導入台数は36台※
- ✓ 累積手術数は1,872症例（2023年6月末時点）

※販売スキームにより、売上計上の額や時期および期間が様々であり、導入台数と売上高は比例いたしません。

サステナビリティ目標の実績開示



- ・ 網掛けのKPIは2023年4月からの新規目標
- ・ 2023年3月期実績は速報値
- ・ 目標を「-」で表示している項目は、目標を設定しないモニタリング項目

健康社会への新たな価値創出

マテリアリティ	KPI	実績		目標
		2022年3月期	2023年3月期	2026年3月期
イノベーションを通じた医療課題解決	ヘマトロジー検査件数	2,971百万件	2,977百万件	-
	ヘマトロジー市場シェア※1	54.6%	54.0%	-
	手術支援ロボットによる症例数	—	1,323	-
	特許保有件数	3,680件	3,832件	-
	特許出願件数	298件	257件	-
	がんゲノム医療解析実施件数※2	1.6千件	1.7千件	-
	OSNA™法による乳がん患者検査数	54千件	52千件	-
医療アクセスの向上	新興国・開発途上国売上高	1,430億円	1,567億円	-

責任ある商品・サービス・ソリューションの提供

マテリアリティ	KPI	実績		目標
		2022年3月期	2023年3月期	2026年3月期
品質と信頼の追求	リコール件数	2件	2件	-
	FDA Warning Letter件数	0件	0件	-
サプライチェーンマネジメントの強化	CSR調査回答率（国内・海外一次サプライヤー）	90%	94%	90%
	サプライヤー（国内）に対するトレーニング件数※3	5件	5件	5%
	サプライヤー（国内一次）第三者認証取得率※3	88%	86%	-

※1 出所：Clearstateおよび当社推計 ※2 対象：国内グループ会社 ※3 対象：シスメックス株式会社単体

サステナビリティ目標の実績開示

- ・ 網掛けのKPIは2023年4月からの新規目標
- ・ 2023年3月期実績は速報値
- ・ 目標を「－」で表示している項目は、目標を設定しないモニタリング項目

環境への負荷低減

マテリアリティ	KPI	実績		目標
		2022年3月期	2023年3月期	2026年3月期
製品ライフサイクルにおける資源循環	プロダクトロスのゼロ化	-	-	0.18%
	リサイクル・環境配慮材料への完全代替	-	-	60.0%
	GHG排出量削減率（スコープ3）※1	-	-	10%削減
	CO ₂ 排出量の削減率-機器製品使用時※2	22%削減	37%削減	
	水消費量の削減率-機器製品使用時※2	13%削減	7%削減	
	CO ₂ 排出量の削減率-出荷物流※2	1%削減	24%削減	
	包装用資材削減率※3	9%削減	7%削減	—
事業活動における環境負荷低減	GHG排出量削減率（スコープ1,2）※1	-	-	40%削減
	CO ₂ 排出量の削減率-事業活動※2	44%削減	52%削減	
	再エネ比率	-	-	75%
	一人あたりエネルギー使用量削減率※1	-	-	3%削減
	水消費量削減率（主要試薬工場）※1	-	-	23pt削減
	水消費量の削減率-事業活動※2	19%削減	44%削減	
	リサイクル率	79%	77%	
	総廃棄物量削減率	15%削減※3	27%削減※3	5%削減※1
	製商品廃棄額対売上高比率	0.6%	0.5%	—

GHG排出量 スコープ1：企業の施設や工場、社用車から直接排出される温室効果ガス
 GHG排出量 スコープ2：エネルギーの使用に伴う、企業から間接排出される温室効果ガス
 GHG排出量 スコープ3：商品・サービスに関わる企業群（サプライチェーン）全体から排出される温室効果ガス

※1：基準年度2022年度 ※2：基準年度2016年度 ※3：基準年度2019年度

サステナビリティ目標の実績開示

- ・ 網掛けのKPIは2023年4月からの新規目標
- ・ 2023年3月期実績は速報値
- ・ 目標を「－」で表示している項目は、目標を設定しないモニタリング項目

魅力ある職場の実現

マテリアリティ	KPI	実績		目標
		2022年3月期	2023年3月期	2026年3月期
エンゲージメントの向上	エンゲージメントスコア	65% (EMEA除く)	71%	75%
	離職率	－	8.4%	10%以下
	自発的離職率	－	6.8%	－
	育児休業からの復帰率※2	－	100%	－
	男性育児休業取得率※2	57.1%	62%	65%以上
ダイバーシティ、エクイティ & インクルージョンの推進	女性マネジメント比率	17.3%	19.5% (ロシア除く)	20%以上
	女性次世代マネジメント比率	－	32.1%	－
	女性従業員比率	－	41.8%	－
	障がい者雇用率※1	2.31%	2.31%	2.65%以上
	管理専門職層の中途採用者比率※2	－	41.7%	－
	採用者の男女比率（新卒、中途）※2	－	新卒：35.9% 中途：27.0%	－
	経営層の女性比率、外国籍比率※2	－	女性：8.3% 外国籍：16.7%	－
	経営層の女性比率	－	9.4%	－
	管理専門職層の賃金格差(総報酬額)(女性:男性)※2	－	93:100	－
	一般社員層の賃金格差(総報酬額)(女性:男性)※2	－	80:100	－

※1 対象：国内グループ会社 ※2 対象：シスメックス株式会社単体

サステナビリティ目標の実績開示

魅力ある職場の実現

- ・ 網掛けのKPIは2023年4月からの新規目標
- ・ 2023年3月期実績は速報値
- ・ 目標を「－」で表示している項目は、目標を設定しないモニタリング項目

マテリアリティ	KPI	実績		目標
		2022年3月期	2023年3月期	2026年3月期
人材の育成	平均教育時間	31.4時間	30.0時間	40.0時間
	付加価値生産性（単体）※2	－	13,230円	－
	付加価値生産性（グループ）	－	1,874万円	2,250万円
	人材育成投資（単体）※2	－	2.66億円	2.52億円
	人材育成投資（グループ）	－	3.56億円	－
	研修への参加率（単体）※2	－	100%	90%以上
	研修への参加率（グループ）	－	100%	－
	サクセッションプラン有効率※2	－	100%	－
	サクセッション・カバレッジ率※2	－	218.9%	－
健康増進と労働安全の推進	年間総労働時間※1	2,045時間	2,022時間	1,980時間
	有給休暇取得率※1	62.4%	66.5%	75%以上
	労働災害度数率※1	0.91	0.81	0.5未満
	労働災害強度率※1	0.04	0.047	0.05未満

ガバナンスの強化

マテリアリティ	KPI	実績		目標
		2022年3月期	2023年3月期	2026年3月期
コーポレート・ガバナンス	投資家アナリストミーティング数※2	485社	597社	-
コンプライアンス	内部通報件数	28件	21件	-
	倫理違反件数	14件	9件	-
リスクマネジメント	情報リテラシー教育受講者数※1	3,601名	4,900名	-
	災害対応訓練参加率※1	98.7%	99.4%	-

※1 対象：国内グループ会社 ※2 対象：シスメックス株式会社単体



Together for a better
healthcare journey